

共汗でつくる新「京都市動物園構想」 第3弾

## 「アフリカの草原」

来春オープン  
(予定)

- ★ アフリカのサバンナに住む大型草食獣や鳥類等を展示します。
- ★ 環境に適応したからだや、生活様式の違いがわかるよう展示します。

### \* グラウンド

広くなったグラウンドでは、キリンとシマウマの混合展示を目指します。

キリン舎

### \* 遊歩道 (木道)

「おとぎの国」から続く遊歩道は、キリンやシマウマを上から観察することができます。

フサホロホロチョウ

フラミンゴ(4種)  
ホオアカトキ

ミーアキャット

カバ

フェネック

### \* キリンのエサ台

キリンがエサを食べている姿を真下から御覧いただけます。

### \* グラウンド内に...

ミーアキャットがキリンたちのグラウンドに顔を出します。



## 東エントランス

東門出入口が、平成25年夏に完成予定!

地下鉄蹴上駅より徒歩5分です!



『白川通りから見た東エントランス』

### 『多目的展示室』

\* ツシマヤマネコや  
法勝寺に関する常設展示など

『カフェ・  
ショップ』

『ツシマヤマネコ  
繁殖棟』

(非公開)

『園内側から見た東エントランス』

## 新『は虫類館』(仮称)

『熱帯に住む、両生爬虫類・鳥類・夜行性獣を  
展示します。』

来春オープン  
(予定)



太陽熱を利用した給湯システムを採用!  
環境に配慮しました。

『新しい仲間が  
増えます。』

世界最大のネズミ  
カピバラも登場!

観覧エリアの頭上をナマケモノが往来する様子を見られます。



画像提供「神戸市立王子動物園」



2羽  
祝!! ヒナ誕生!

# フンボルトペンギンの 子育て奮闘記!

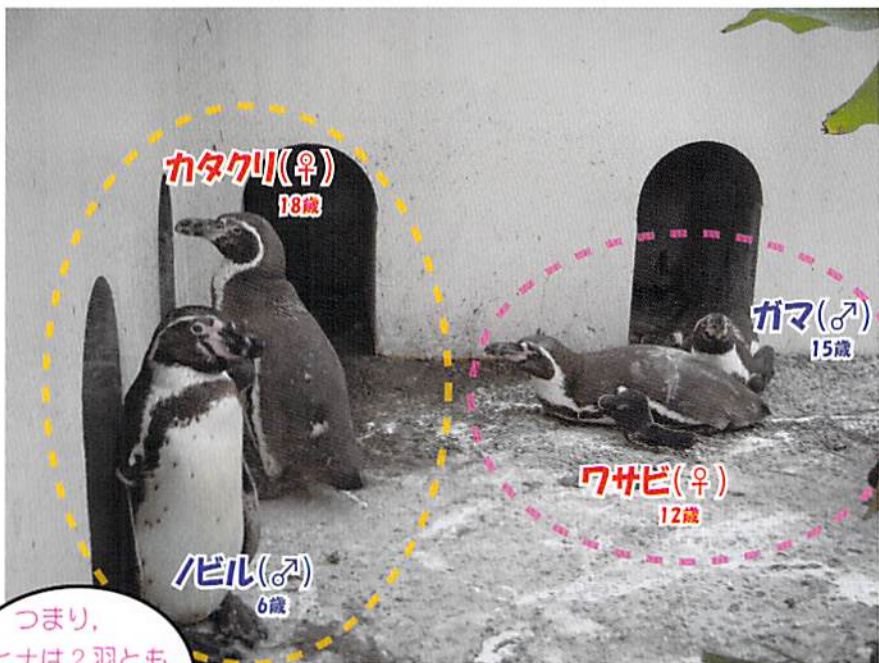


- フンボルトペンギンとは・・・
- 南アメリカ西岸を北上する、冷たく栄養豊富なフンボルト海流の影響を受ける地域に分布する中型のペンギンです。主に日中、カタクチイワシなどの小魚を潜水してとらえ、夜間は陸地で過ごします。

- 当園のフンボルトペンギンは・・・
- 8羽のメスと2羽のオスの合計10羽を飼育しています。そのうち5羽は当園で生まれました。それぞれに、野草の名前がついています。

## ヒナを育てているのはこの2ペア

フンボルトペンギンは一夫一妻制で、つがいの相手はどちらかが死亡した場合などをのぞいて一生変わりません。ノビルとカタクリのペアは、実は息子と母親の親子関係なのですが、毎年2羽の間に卵を産んでしまいます。その卵をかえすわけにはいかないので、代わりにガマとワサビの2つの卵の内の1つを育ててもらうことにしました。



つまり、ヒナは2羽ともガマとワサビの子なんです。

▲ヒナを巣の中に残して、休憩中

## 巣づくり

野生では地面に長い横穴を掘り、その中で産卵、子育てをしますが、動物園にはあらかじめ巣穴があり、巣材となる竹の葉や茎、ワラなどは繁殖期に用意します。ペンギンは自分たちで巣材を巣穴に運び込み産卵に備えます。



▲ワラを用意すると... ▲すぐにみんな寄ってきて... ▲たくさんくわえて巣穴に急ぎます





▲ガマとワサビの巣の様子

### 産卵

卵は、3~4日の間隔を空けて2個産みます。  
今回ワサビは4/28と5/1に産卵しました。



▲抱卵するノビル(奥)と寄り添うカタクリ

### 抱卵

オスメス交代で抱卵します。1日の中でも頻繁に交代しているようです。  
抱卵期間は40日ですが、ノビルとカタクリは自分たちの卵を抱卵している途中から、ガマとワサビの卵を預けられたので、合計62日間も辛抱強く抱卵しました。



▲生後17日のガマとワサビのヒナ

### ふ化

ヒナは自力で卵の殻を割って出てきます。ふ化後しばらくは、目が開いていませんが、10日ほどで少しずつ開いてきます。

今回は、新しいプールで初めての繁殖だったため、落ち着いて子育てしてもらえよう、写真を撮るのもひかえめにしました。

右の写真は、以前生まれたヒナで、生後2日です。体重129g。



捨考までに...

### 給餌

餌は、親が一度飲みこんだ魚を口移してもらいます。ヒナはよく食べるので、親は大忙しです！



▲ノビルの給餌の様子

### 体重測定

順調に育っているか、定期的に体重を量りました。



▲小さい時はキッチンスケールで(ふ化後約20日齢)

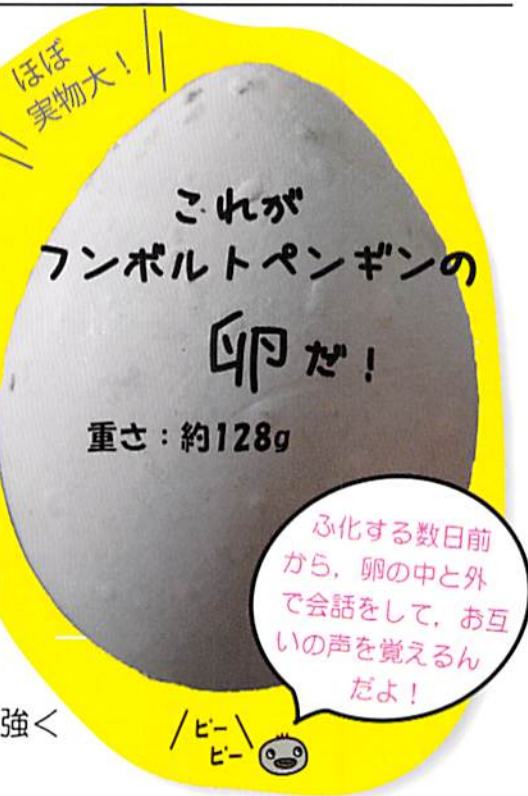
### 初泳ぎ

ほぼ全ての羽が正羽に生え変わった頃、ついに自分からプールに飛び込みました。先輩からちょっかいをかけられながらもいっしょうけんめい泳いでいます。



▲隣にカタクリ母さんがつきそっています

検査の結果、2羽ともオスでした！



担当者より  
フンボルトペンギンは日本で一番、飼育数の多いペンギンです。繁殖自体はめずらしいことではありませんが、今回は昨年できたばかりの新しい施設で、すぐに子育てしてくれたことに驚くとともに、彼らのたくましさ感動しました。2羽のこどもたちは、おとなとは体の模様が違うので、12羽の中から探してみてくださいね！  
フンボルトペンギン担当 佐々木

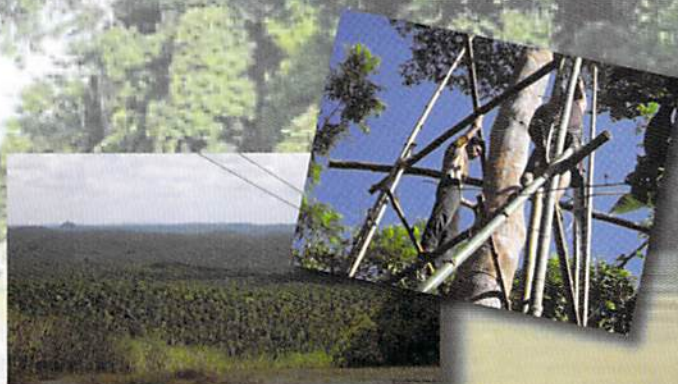


# ＝吊り橋プロジェクトに参加して＝ Part 2

5月下旬にボルネオに行って吊り橋を架けてきました。ボルネオは東南アジアに浮かぶ、世界で三番目に大きい島です。このプロジェクトはNP0ボルネオ保全トラスト(BCT)とBCTジャパンがサバ州野生生物局や現地NGOと協力して行っている取り組みです。

現在、ボルネオでは急速にアブラヤシのプランテーション\*が広がっており、それに伴って森林が破壊されています。森が減少するとオランウータンは木から木へと移動できなくなるのです。しかし、アブラヤシは現地の人々にとって安定した収入源であり、さらにアブラヤシは私たちにとってもインスタントめんやスナック菓子里に使われており無関係なことではないのです。

吊り橋には耐久性に優れる日本の消防ホースが利用されました。現地の人々と協力して架橋しました。オランウータンが森を自由に移動し、餌の確保や繁殖のための新しい出会いに少しでも役立てて欲しいと思います。 飼育課 米田弘樹



「セビロク オランウータン  
ツバヒツテーションセンター」

\*プランテーション：熱帯・亜熱帯地域の原住民や移民の安い労働力を使って、商品作物を生産する大規模農園。

## できごと



## プレゼント

☆7月22日毎年恒例になった冷たい氷のプレゼントです。氷の中に入っている冷たい果物を、手でほじったり、鼻でほじったり・・・暑い夏のひと時の涼を楽しんだ動物たちでした。



## 旅立ち

☆爬虫類館のクチヒロカイマンが、6月12日に熱川バナナワ二園へ旅立ちました！



「カイト」  
元気で暮らしてね！！

## 新しい仲間

☆マンドリルの「ベンケイ」が那須ワールドモンキーパークからやってきました。2005年4月26日生まれのオスです。みなさん仲良くしてくださいね！



☆ミニブタが2頭、おとぎの国に新しく仲間入りしました。大阪府立農芸高等学校からやってきました。2頭とも6才のメスです。

## 安らかに

☆7月9日ニホンカモシカの「ジュン」が心不全のため死亡しました。とても人懐っこく皆さんに可愛がっていただきました。今までありがとうございました。



定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称：京都市長 門川 大作  
事業所の名称：京都市動物園  
事業所の所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町126  
動物取扱業の種別：展示

登録番号：070051  
登録年月日：平成19年5月22日  
有効期間の末日：平成29年5月21日  
動物取扱責任者氏名：和田 晴太郎

DO YOU KYOTO?  
KYOTO MARATHON 2013  
3月10日(日) 京都マラソン開催  
大会当日はノーマイカーデー